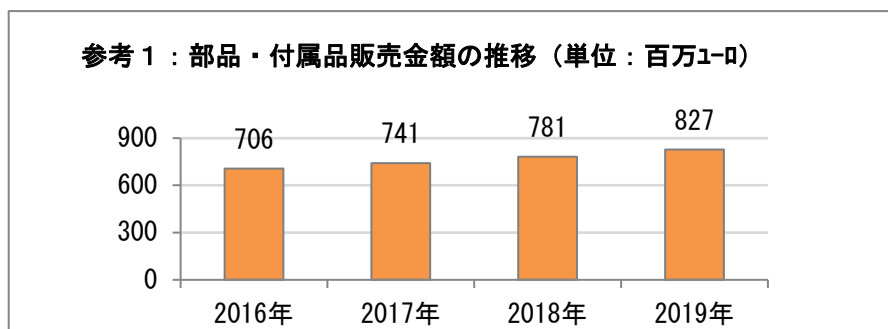
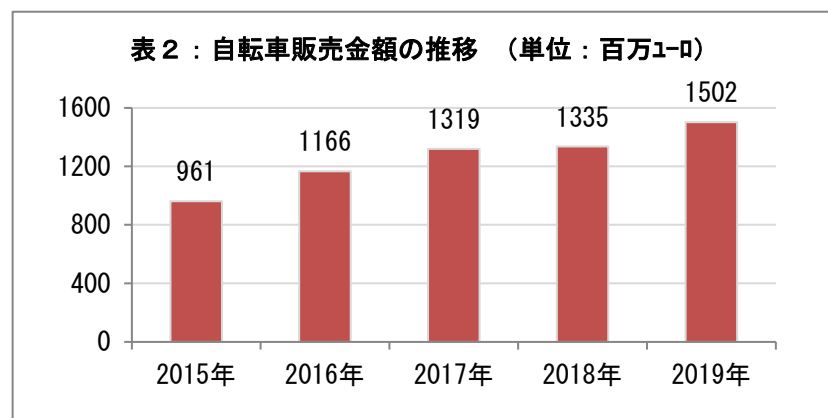
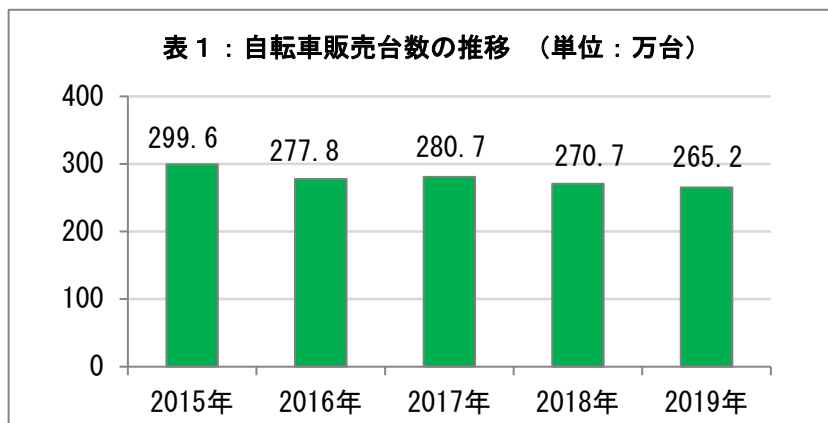


フランス自転車市況－2019

1. 販売

フランスのスポーツ・サイクル用品の業界団体「Union Sport & Cycle」によると、2019年自転車販売台数は前年比2%減の265.2万台であり、2012年に300万台を割り込んで以来低迷している。一方、自転車販売金額は同比12.5%増の1,502百万ユーロ(1,847億円)となり、2ケタの伸びをみせた。なお、部品・付属品(P&A)の販売金額は同比5.9%増の872百万ユーロ(1,073億円)となった。



2019年自転車平均販売価格は、前年比15%増の566ユーロ(69,618円)に上昇し、500ユーロの大台を突破した。同価格上昇が続く主な要因は、価格の高い電動アシスト自転車(EPAC)

の販売台数が年々増えているためとみられる。なお、EPAC の平均販売価格は同比 10.3% 増の 1,749 ユーロ (215,127 円) となった。因みに EPAC を除く一般自転車の平均販売価格は 364 ユーロ (44,772 円) である。

表3： 平均販売価格の推移（単位：ユーロ）

年	2015	2016	2017	2018	2019
平均販売価格	321	337	470	493	566

2. 業態別販売動向

2019 年自転車販売の業態別シェアは、自転車販売台数ベースで見ると、Decathlon 等の大型スポーツ店等が前年より 3 ポイント増の 63% と最大である。自転車小売専門店は前年同様 19% であったが、スーパーマーケット等の量販は 4 ポイント減の 10% となった。

自転車販売金額ベースで見ると、自転車小売専門店は前年同様 55% と過半数を占め、大型スポーツ店等は前年同様 33% であった。量販等は 2 ポイント減の 3% の一方、インターネットと通販等は 2 ポイント増の 9% となった。

表4： 2019年自転車販売・業態別シェア（販売台数ベース）

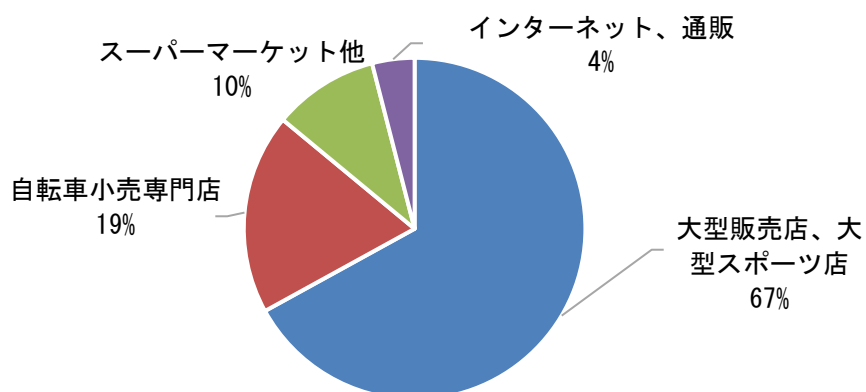
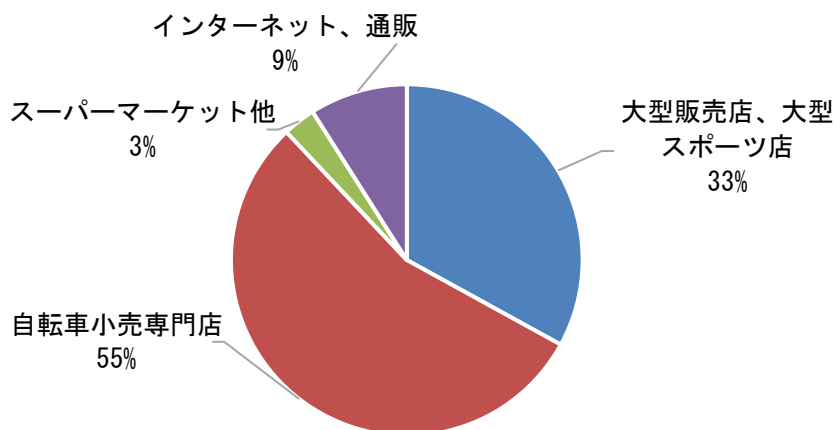
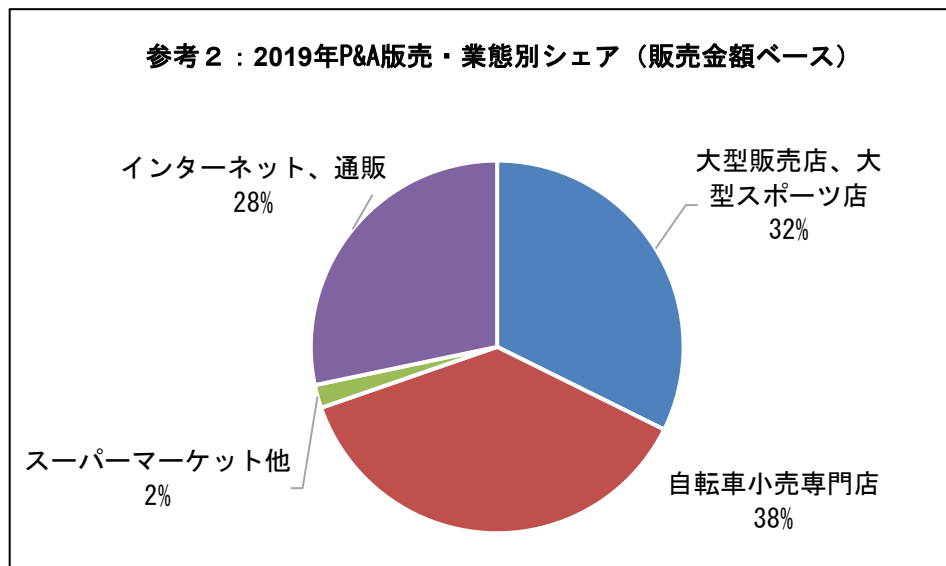


表5： 2019年自転車販売・業態別シェア（販売金額ベース）

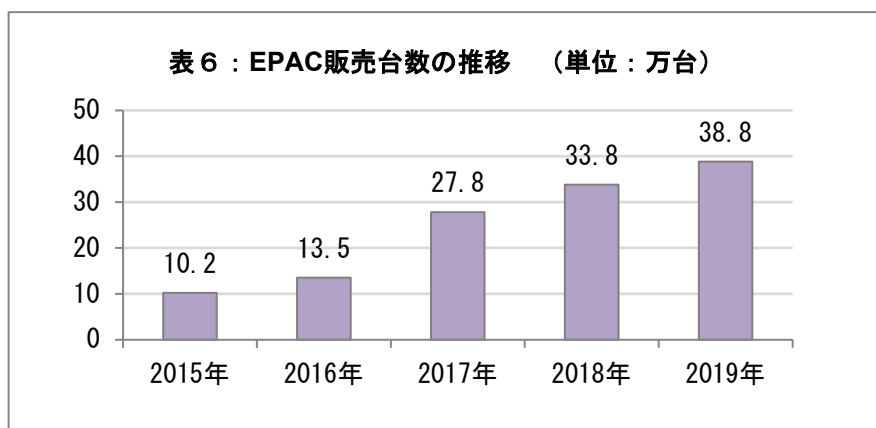


部品・付属品(P&A)販売の業態別シェアは、販売金額ベースで見ると、自転車小売専門店が38%で最大である。しかしながら、大型スポーツ店等は32%、インターネット通販等も28%と一定のシェアを有している。一方、量販等は僅か2%に留まっている。



3. EPAC 販売動向

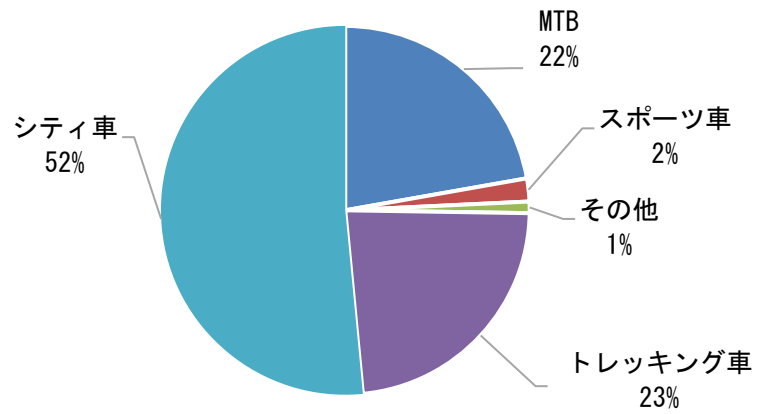
2019年電動アシスト自転車(EPAC)の販売台数は前年比14.8%増の38.8万台となり、前年に続き2ケタの伸び率をみせた。EPACの販売金額は同比25%増の679百万ユーロ(835億円)となり自転車販売全体の45%を占めている。また、車種別販売比率(販売台数ベース)で見るとEPACのシェアは14.6%である。



EPACの業態別販売比率は、販売台数ベースで見ると、自転車小売専門店が前年同様の56%と最大である。大型スポーツ店等は前年より9ポイント増の32%であるが、量販等は前年よりシェアが半減し9%となった。しかしながら、販売金額ベースで見ると、自転車小売専門店が74%とシェアの大半を占め、大型スポーツ店等は20%、量販等は僅か3%である。

EPACの車種タイプ別シェア(販売台数ベース)は、電動マウンテンバイク(E-MTB)は前年より3ポイント増の22%であり、E-ロードバイク等のスポーツ車タイプは1ポイント増の2%となった。移動手段としての街乗りが主体のトレッキング車タイプは5ポイント増の23%となったが、同じく街乗り用のシティ車タイプは9ポイント減の52%に落ち込んだ。

参考3：2019年EPACタイプ別シェア（販売金額ベース）



MOUSTACHE の電動スポーツバイク

以上

統計出所：Union Sport & Cycle

写真：EUROBIKE2019にて筆者撮影